

事業所名		門真市立こども発達支援センター (地域支援グループ)		支援プログラム(居宅訪問型児童発達支援)		作成日		2025 年 4 月 1 日	
法人（事業所）理念		【晋栄福祉会】 情熱をもち行動する 前進と振り返り、時に回り道もある、あらゆる工夫で、いろいろな方法で、よくコミュニケーションをとり連携する すべては地域に住む人々と自らの幸福と福祉のために 【治栄会】 「すべての人たちが すべてのことに感謝でき 和やかで楽しい日々と まるやかで幸せな人生を おくれますように 念じております」を掲げ、すべての人の幸せを職員とともに追求する日々を重ねております。 【愛光会】 地域に対し総合的な医療・福祉支援システムを作り、利用者をどんなに重い障がいがあろうとも挑戦していく人と位置付け、利用者にとってごく普通の当たり前の生活を支援することに努めてまいります。							
支援方針		①『 気になる段階 』からの 早期支援 ：こども健やかな成長のためには身心の発達が目覚ましい乳幼児期に、「より良い環境」を整え、適切に療育を進めることが重要といえます。そのことから、保健・医療・福祉・教育等の関係期間や地域と密着に連携し、「気になる段階」から支援に努めてまいります。 ② 的確なアセスメントに基づいた療育 ：発達の気になる子どもの一人ひとりの個性やニーズを的確に把握し、可能性を最大限に伸ばすことができる療育を目指します。さらに施設の持つ専門性を地域に還元し、地域療育の支援につなげていきます。 ③ こどもと家族のエンパワメント支援と、ライフステージに応じた一貫性のある支援 ：発達の気になるこどもやその家族が、その能力や生きる力を発揮し、主体的に社会生活が営めるよう、こどもの「自ら伸びる力」と保護者の「こどもの育ちを支える力」引き出す支援を行います。合わせて、地域で意欲ある生活が送れるよう、障がい児支援の啓発を行い、地域の理解を高めるための活動に努めていきます。そして発達の気になるこどもがこころの豊かな地域生活を送れるよう、各関係機関と協同・連携し、こどものライフステージ全般を見通した総合的な支援につなげていきたいと考えます。 ④ これまでの慣習にとらわれず一歩前進（イノベーション） ：こどもや家庭を取り巻く環境は日々変化しています。その中で、より良い支援を提供するためには、これまでの慣習や枠組みにとらわれず、新たな視点や方法を積極的に取り入れる柔軟さが必要です。私たちは柔軟で創造的なアプローチを追求し、こどもが可能性を最大限に発揮できる未来を目指して、一歩前進することに努めてまいります。							
営業時間		8 時 30 分から 17 時 0 分まで		送迎実施の有無		あり なし ご自宅に訪問支援員がお伺いします。			
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	子どもの心身の健全な成長を促進するため、日常生活の基本的な習慣やスキルを育み、生活能力の向上を図ります。また、健康状態のチェックと必要な対応を実施します。生活リズムを整え、健康的に日中活動を行うことができるようにサポートします。							
	運動・感覚	感覚に働きかける遊びを通して、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、前庭覚、固有覚等の感覚を十分に活用できる遊びを行い、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。また、遊びの中で体を動かす機会を設け、日常生活を送る上で必要となる移動や姿勢保持、運動動作等の身体機能の向上を目指します。							
	認知・行動	玩具や教材、教具を使用した遊びを通して、物との関りを豊かにすることで、生活の中で認知や行動の手掛かりになる概念の形成を図ります。また、好きなことや興味を活かした活動を提供することで、見る、聞く、触るという行動を促し、物事への注目、理解につなげていきます。さらに、保護者への助言や家庭での取組みの支援を通じて、家庭と連携した包括的な成長につながるサポートをします。							
	言語 コミュニケーション	言語力およびコミュニケーション力の向上を目的に、言葉や非言語的な手法（表情、視線運動、ジェスチャーなど）を活用した支援を行います。また、人と関り会う経験を重ねることで、コミュニケーションへの意欲を引き出していきます。さらに、家庭でのコミュニケーションの向上を図るため、保護者と密に連携し、支援を進めます。							
	人間関係 社会性	安心できる環境の中で家族以外の人との関りを重ね、愛着の形成や信頼関係の構築に繋げていきます。また、お子さんの好きな遊びや興味、関心を広げていき、人との関りを経験し、社会性を高めていきます。							
家族支援		家族支援では、保護者への個別相談やアドバイスを提供し、育児ストレスの軽減を図るプログラムを提供します。家庭での対応方法に関する支援や地域資源の活用方法を提案し、家族全体が安心して子どもの成長を支えられる環境づくりを支援します。また、定期的な家族向け交流イベントや研修会を開催し、保護者同士のネットワーク形成も促進します。			移行支援		個別支援や集団活動を通して、生活スキルや社会性の向上を図ります。保育園、幼稚園、就学に向けてより小集団での活動経験を積むことにより、より大きな集団への移行を目指します。また、関係機関との情報交換を通じて、地域生活の中でのサポートが一貫性を持って行われるよう支援します。		
地域支援・地域連携		地域支援・地域連携を通じて、子どもの成長を支えるための専門的なサポートを提供します。保護者、学校、医療機関と連携し、療育や生活支援を充実させます。地域の中で安心して生活できる環境を整えます。また、発達特性への理解を深めるための啓発活動を行います。			職員の質の向上		内部研修や外部研修への積極的な参加を推進し、職員の専門性向上を図ります。公開療育やケース検討会議を定期的の実施し、職員間の情報共有やスキルアップを促進します。また、支援の質を向上させるため、最新の知見や実践方法を導入します。		
主な行事等		具体的な行事内容については、対象となる子どもや家族のニーズに応じて計画し、地域資源を活用した多様なプログラムを提供します。							